



安心して子育てができる 八千代市に

29年第2回定例市議会は、6月12日から7月5日まで開催されました。初日に行われた、服部友則市長の所信表明の要旨を紹介します。
※定例市議会の結果は8月1日号に掲載します。**【問い合わせ】総務課 483-1151(代表)**

所信表明

5月21日の市長選挙で、市民からの信託を受け、第15代八千代市長に就任し、市政の舵取りを任せていただくことになりました。身に余る光栄であり、その重責に、改めて身が引き締まる思いです。

私は市議会議員として約20年、県議会議員として約10年務めました。議員という立場で、市政、県政について、それぞれの首長と議論し、八千代市民の生活向上の推進に努めてきました。今後は、本市の首長として、これまで以上に尽力していきます。

また、この4年間、副市長が不在という状況が続いていましたが、行政手腕を持ち、知識、経験、実績が豊富で人間性にも優れた、本市の発展のために共に汗を流してもらえぬ人材を選任したいと考えています。

私が目指す目標は、「緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に」です。乳幼児から高齢者まで安心して暮らすことができ、子どもが第一の市政を大きな柱に据え、今後の市政運営に当たっていきたくと考えています。

私が目指す八千代市の政策は5つです。

1つ目は、東葉高速鉄道の運賃値下げです。同鉄道は都心へのアクセスの便利さから、本市の発展に欠かせません。しかし、運賃の高さが市外からの人口流入や集客に、大きく

水を差す要因になっています。このため、同鉄道と東京メトロの経営統合、車両基地の一部売却などにより、運賃の値下げ、東京メトロと同運賃を目指したいと考えています。根気よく関係機関と協議を重ね、国・県などのパイプも最大限活用しながら、実現に向けて取り組んでいきます。

2つ目は、子育て支援施策です。本市の保育園における29年4月1日現在の待機児童数は185人、学童保育所の待機児童数も111人となっており、市民ニーズを充足できていない状況です。

働きながら安心して子育てできる環境づくりの構築を目指します。保育所施設整備、保育士拡充対策、幼稚園の預かり保育の推進、小学校での放課後子ども教室の拡充などにより、待機児童の解消を図ります。その他、本市が日本で初めて導入した「私立幼稚園等就園奨励費」の増額や、小中学校のトイレの改修、エアコンの設置も早急に推進します。特に預かり保育の推進は、施設や人材など、現在ある資源を有効活用し、3・4・5歳児の待機児童の解消を目指します。

3つ目は、高齢者福祉施策です。入居者の高齢化が進むUR3団地への高齢化対策として、エレベーターの設置、介護専用駐車場の設置などの協議を行っていきます。また、現在八千代台地域のみで運行しているコミュニティバスに加え、コンパクトカーによる公共施設、商業施設を循環する交通手段の整備を行いたいと考えています。その他、運転免許返納者に対する交通機関の優遇制度の創設、在宅介護の支援拡充に着手していきます。

4つ目は、駅周辺の土地の高度利用として、京成線の高架化と駅周辺の再開発です。本市

発展の礎となった京成線沿線の再開発は重要課題であり、鋭意取り組んでいきます。

5つ目は、水と緑と太陽がある街として、市のシンボルであり、観光資源でもある新川の有効活用です。かわまちづくり計画の推進に合わせ、水質浄化施策を図るように県と調整しつつ、新川が市民にとって安らぎと潤いの場所となるよう、整備していきます。

これら以外にも、本市のみならず大きな影響があると考えられる東京湾北部地震などの大災害や様々な災害対応に備えて、自衛官による防災危機管理監の常駐を考えています。そのほか、スポーツ施設の増設、都市計画道路の整備促進、八千代ふるさと親子祭の花火大会のスケールアップ、市街化調整区域における下水道整備、小中一貫校の創設なども進めます。

事業を実施する際は、財政問題を切り離して考えることはできません。東葉高速鉄道の運賃値下げや京成線の高架化、八千代台駅・大和田駅などの周辺開発を実現し、人口流入や不動産価値の上昇による市税収入の向上を図ることで、財政の健全化と市民サービスの向上につながるものと考えています。

最後に、本市の歴史を振り返ると、鉄道に関する2回の変革を経て大きく発展してきました。

今後は、政治主導の「八千代第3次改革」を起こし、生活・財政・子育ての未来のために、本市を根本から立て直し、その改革がもたらす新たな経済サイクルを実現したいと考えています。

私は、市民代表である議員の皆様と信頼関係を構築し、多くの市民の意見に耳を傾けながら政策を推進していく所存です。何とぞご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

夏休みを安全に過ごすために

倒木などで京成線の列車の運行に支障をきたす恐れがあるため、鉄道施設から20mの範囲にある八千代台西市民の森の樹木を伐採します。工事は、8月中旬から12月下旬を予定しています。期間中に10日程度の夜間工事を行います。工事の内容は、決まり次第、市ホームページや現地を設置する告知板でお知らせします。(公園緑地課)



- 不審者に出会ったときは「いかのおすし」を合言葉に！ 「いかに」のらない・おお声を出す・すぐに逃げる・しらせる」を合言葉に、危険から身を守る力を育てましょう。
 - インターネットの安全な利用を コミュニケーションサイトの利用によるトラブル、歩きスマホ・ながら操作による事故などから子どもたちを守るために、家庭でのルールの確認やフィードバックの設定をしましょう。保護者の理解と見守りが、子どもたちを守ります。
 - 愛のひと声を 子どもたちの小さな変化を見逃さず、気になったときは「どうしたの？」と優しく声を掛けましょう。よい行いは、その場で褒めるのが一番です。
 - ダメなものダメ！ 未成年の飲酒や喫煙は、非行の第一歩です。「ダメなものダメ！」の一言が、子どもを非行から救います。酒やタバコの害について、子どもたちは知識と判断力が不十分です。話し合い、誘惑に負けない強い心を育てましょう。
 - 夜の外出は控えましょう 千葉県青少年健全育成条例で、保護者は特別な事情がある場合を除き、青少年を午後11時～午前4時は、外出させないように努めなければなりません。また、保護者の同伴なしに16歳未満の人が午後6時以降にゲームセンターに立ち入ることは、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律、千葉県施行条例により禁止されています。
 - 青少年相談のご利用を 青少年の非行や生活の乱れなどの悩みについて、相談をお受けします。助言・指導のほか、必要に応じて関係機関との連携を図ります。
- ▼相談方法 ①電話相談 ②来所相談(要電話予約) ※受け付け時間はいずれも月曜日～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後4時 ▼連絡先 青少年センター/大和田13812教育委員会庁舎内 483-2842